

平成26年度中小企業振興施策の実施状況

市の施策	中小企業振興のためのアクションプラン
期間:	平成25年度から平成29年度までの5年間
目標:	平成29年度における市内総生産(その年度において兵庫県が公表する最新の数値)を平成24年度の市内総生産と比較して5パーセント増加させる

三木市中小企業振興条例第4条に規定する施策

(1) 経営の革新及び経営基盤の強化並びに創業を促進するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (3月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	中小企業支援ネットワーク事業	中小企業振興のためのネットワークを構築し、専門相談員(中小企業診断士等)による相談等の支援を行います。	2,083万円	①相談、訪問件数 300件 ②経営セミナー開催件数 12回 ③起業件数 10件	① 窓口相談405件、企業訪問681件 計1,086(1月末現在) ② 起業セミナー等開催 21回 参加者156名(延べ340名) ③ 起業件数 10件(飲食7、食品製造1、介護サービス1、美容1)	・平成26年4月1日より中小企業サポートセンターを開設 コーディネーター5名を配置、週5日1日2人体制で運営 ・産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け起業支援を強化 ・国・県の補助申請・融資を支援 ものづくり、創業補助金等15件の採択 公的融資創業融資8件(日本政策金融公庫)の実行
イ	地場産業振興事業	経済・産業団体への運営助成や、三木金物を活かしたイベントの実施などにより、地場産業の振興策を推進します。	3,281万円	・地場産業の海外進出を推進するため、東南アジアとの交流を行う。 ・将来の人材育成のため、市内全小学校で金物体験教室を開催する。	・市長がミャンマーヤンゴン市経済交流視察を実施 ミャンマー友好推進顧問の設置 個別相談会の開催 3回 参加企業8社 ・市内全小学校全16校で金物を使った体験教室を実施	・顧問との個別相談会参加企業のうち、金物製造業4社がミャンマー企業との取引へ向け具体的動きがある。 ・ミャンマーとの友好協定に向け進行中
ウ	商業振興事業	商業団体等の商業活性化のための取組への支援やイベントの開催などにより、商業の振興を推進します。	529万円	「商業振興による地域活性化に関する条例」を制定し、商業振興を推進する。	・平成26年4月に「商業振興による地域活性化に関する条例」を制定 ・明盛商店街において、マルシェ2回開催 1回目 5月25日 来街者5,000人 2回目 12月14日 来街者3,000人 ・吉川町商工会のプレミアム商品券発行を支援 発行額1,100万円 プレミアム分10%補助	
エ	公契約条例	市が発注する公共事業やサービス(公契約)に関して条例で定めることで、適正な労働環境の確保や企業の競争力向上、経営悪化の防止を促進します。	0予算	5,000万円以上の公共工事及び1,000万円以上の委託契約について、労働報酬下限額を定め労働者賃金の低下と下請け業者の経営悪化の防止を図る。	対象件数2件	
オ	起業支援事業(女性の起業家支援事業)	女性が起業しやすい環境づくりを進めるため、起業セミナーや勉強会を開催するなど、女性起業家を総合的に支援します。	285万円	①・女性の専門家による起業セミナーの開催 4回 ・女性起業家による講演会の開催 ②起業件数 3件 ③起業支援補助制度の創設	① 女性起業セミナー開催 3回 参加者19名(延べ50名) 女性起業家講演会開催 1回 参加者11名 ② 起業件数4件(食品製造1、飲食3件) ③ 起業支援補助制度を創設した。 助成件数 2件	その他、中小企業サポートセンターに女性専用の相談日を設けて、経営計画策定支援などを行った。
カ	設備投資促進事業	市内中小企業の設備投資を喚起するため、機械、設備などの導入費用を支援します。	6,000万円	助成件数 15件	助成件数 34件	申請が予定を大きく上回ったため、当初予算4,000万円から6,000万円に増額した。

## (2) 新たな産業を創出するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (9月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	観光振興事業	三木市観光協会と連携し、三木の歴史、文化遺産や特産品を生かした、特色ある観光の実現に向けた取組を進めます。	100万円	土産品開発 2件	NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にちなんだ土産品開発 3件 (饅頭、ラスク、酒)	
イ	農業の6次産業化推進事業	三木産ハーブを使用した新製品の開発や新たな販路の開拓を支援することにより、ハーブの6次産業化を推進します。	337万円	ハーブ製品の売上 2,000万円	売上 1,000万円	市立農産物工房(ハーブ工房みきヴェルデ)を管理しつつ、三木市ハーブ産業推進協議会とともに、新製品の開発(17品目)やインターネット販売、商談会、各種催し出店など販路拡大を図っている。
ウ	起業支援事業(女性の起業家支援事業)(再掲)	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載

## (3) 技術力、経営力の高度化を促進するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (3月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	特許権等取得助成事業	特許権の取得に必要な費用の一部を助成することにより、新製品や新技術の開発を促進します。	150万円	助成件数 10件	特許 7件、実用新案 4件、意匠登録 8件 計19件	14社(金物製造業8社、金物卸売業2社、その他製造業4社)
イ	設備投資促進事業(再掲)	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載

## (4) 市内経済の循環を促進するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (3月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	住宅リフォーム支援事業	市内の施工業者を利用した住宅リフォーム工事の費用の一部を助成することにより、住環境の向上と地域内経済の循環を推進します。	4,900万円	助成件数 100件	380件 助成金額3,300万円(3月末見込み) (補助対象工事金額5億8,000万円)	・当初予算1,000万円から4,900万円に増額補正 ・平成25年度実績 627件 助成金額 5,000万円 初年度にあたる平成25年度のリフォーム助成は、潜在的にあったリフォーム需要を高め、前倒しする効果があったが、本年度は、その反動もあり、件数で約40%減少する見込みである。
イ	若者世帯の新築補助事業	新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税と都市計画税の一部を助成することにより、若者世帯の転出抑制と市内への定住を促進します。	1,400万円	助成件数 180件程度	対象世帯数 162件(3月末見込み)	平成26年度創設(平成27年1月から3月申請受付) 対象人口:396人(40歳未満の世帯)
ウ	公契約条例 (再掲)	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載

## (5) 社会経済情勢の変化への適応を円滑化するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (3月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	中小企業融資対策事業	中小企業者への低金利での貸付などにより、中小企業の経営の充実に支援します。小規模無担保無保証人融資について、融資限度額及び利子補給並びに信用保証料補給を拡充します。	4億228万円	小規模無担保無保証人融資の実行件数 10件	・実行件数 102件 745,890千円 ・信用保証料補給123件 約30,000千円(3月末見込) ・利息補給 上半期 71件 1,527千円、下半期 102件 約4,500千円(3月末見込)	・全融資実行 124件928,890千円 ・小規模無担保無保証人融資に係る条件を拡大した。貸付限度額の拡大(1,000万円から1,250万円) 利子補給、信用保証料補給の拡大(利子補給0%から100%、信用保証料50%から100%)
イ	中小企業支援ネットワーク事業 (再掲)	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載

(6) 情報収集及び発信を促進するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (3月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	中小企業支援ネットワーク事業（再掲）	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載	(1)に記載
イ	産業見本市事業	産業見本市の開催や出展に必要な費用を助成することにより、市産業のPRや販路の拡大を促進します。	2,880万円	①金物業界が地元開催する展示会 2件 ②国際的見本市 4件	① 三木金物商工協同組合連合会主催、ユーザー向展示会「鍛冶でっせ」(メッセ三木) ② 日本DIYショウ(幕張メッセ) 国際道工具EXPO(幕張メッセ) 東京インターナショナルギフトショー(東京ビッグサイト)	

(7) 雇用の安定及び人材を育成するための施策

	事業名称	事業概要	26年度事業費 (3月補正後)	年度目標	実施状況	備考
ア	地域職業相談室事業（三木市ふるさとハローワーク）	西神公共職業安定所（ハローワーク）と連携した求職者への職業相談、職業紹介や、求人情報の提供により、雇用のマッチングを促進します。	339万円	職業紹介成功率 19%(H25年度実績)	紹介成功率 17.6%（2月末現在）	新規求職者数 1,587人、紹介数 3,024人 採用者数 531人
イ	雇用・勤労者対策事業	求人求職面接会の開催や、介護職員初任者研修課程の受講費用への助成等により雇用状況の改善を図るとともに、勤労者の住宅建築、取得への融資のあっせんにより、勤労者の生活環境の改善を促進します。	1億6,771万円	①求人求職面接会の開催 2回 ②介護資格取得助成 30件 ③勤労者住宅資金融資 4件	① 面接会開催 1回、介護施設見学面接会開催 1回（4事業所） ② 受講料助成 25件 ③ 新規融資 0件	
ウ	ワークライフバランス推進事業	講習会の開催や情報の提供、企業の環境整備への補助などにより、ワークライフ・バランスの普及啓発を推進します。	262万円	企業の子育て等支援事業補助件数 8件	実施済2件（育児休業代替要員確保事業） 3月末見込5件（事業所内保育施設設置運営）	
エ	中小企業人材育成事業	経営者または従業員が中小企業大学校等で受講した研修等の費用の一部を補助することで、中小企業の人材育成を支援します。	10万円	補助件数 6件	3月末見込 3件	中小企業大学校の人材育成講座等
オ	三木金物後継者育成事業	後継者の育成に必要な費用の補助や、技術継承セミナーの開催への補助を行うことにより、後継者の育成と技術の継承を支援します。	682万円	補助件数 ①親方の弟子育成事業 2件 ②工業組合実施技術継承セミナー48回	①鉋製造 1件 ②76回実施済(鋸目立て、鋸鍛接、包丁研ぎ、銘切 19×4講座 参加者185名)	